

北九州工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	知的財産	
科目基礎情報							
科目番号	0091		科目区分		一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		学修単位: 1		
開設学科	生産デザイン工学専攻		対象学年		専2		
開設期	前期		週時間数		1		
教科書/教材							
担当教員	廣瀬 孝壽,白神 宏						
到達目標							
現代の技術の課題について考察することができる。 特許情報を調査して、新技術の創造に活用することができる。 知的財産権という権利の重要性を理解できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	知的財産権の取得について十分理解できる。		知的財産権の取得についてほぼ理解できる。		知的財産権の取得について理解できない。		
評価項目2	知的財産権の侵害について十分理解できる。		知的財産権の侵害についてほぼ理解できる。		知的財産権の侵害について理解できない。		
評価項目3	特許調査が十分できる。		特許調査がほぼできる。		特許調査ができない。		
学科の到達目標項目との関係							
専攻科課程教育目標、JABEE学習教育到達目標 SF① 歴史・文化・社会に関する知識を持ち、それらを示すことができる。 専攻科課程教育目標、JABEE学習教育到達目標 SF② 工業技術と社会・環境との関わりを理解し、社会・環境への効果と影響を説明できる。 専攻科課程教育目標、JABEE学習教育到達目標 SF③ 技術者としての役割と責任（倫理観）を認識し、説明できる。							
教育方法等							
概要	以下の授業目的を達成するため、調査を中心とした授業を行う。 1.創造力を高めること。 2.創造した技術が既に存在しているかについて、調査すること。 3.創造した技術が特許権を取得できる可能性がある場合、特許権取得方法を学習すること。 この科目は企業で知的財産に関する業務を担当していた教員が、その経験を活かし、知的財産権の理解及び調査について講義形式で授業を行うものである。						
授業の進め方・方法	発明に関する知識について学習することとなるので、以下の点に注意すること。 1.自分自身の創造力を高める方法について、論理的に分析すること。 2.知的財産制度に関する基礎知識を理解した上で、調査を行うこと。						
注意点	特許調査を行い、レポートを作成する。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	特許調査の基礎		特許調査の基礎がわかる		
		2週	知的財産の基礎		知的財産権の基礎知識がわかる		
		3週	特許調査		特許調査ができる		
		4週	特許調査レポート作成（1）		特許調査した技術の概要が理解できる		
		5週	特許調査レポート作成（2）		特許調査した技術を説明できる		
		6週	特許調査レポート作成（3）		特許調査した技術を説明できる		
		7週	特許調査報告（1）		特許調査した技術を説明できる		
		8週	特許調査報告（2）		特許調査した技術を説明できる		
	2ndQ	9週	特許調査報告（3）		特許調査した技術を説明できる		
		10週	特許調査報告（4）		特許調査した技術を説明できる		
		11週	特許調査報告（5）		特許調査した技術を説明できる		
		12週	特許調査報告（6）		特許調査した技術を説明できる		
		13週	特許調査報告（7）		現代の技術の課題について考察することができる。		
		14週	特許調査報告（8）		特許情報を調査して、新技術の創造に活用することができる。		
		15週	特許調査報告（9）		知的財産権という権利の重要性を理解できる。		
		16週	定期試験		定期試験		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
		試験	レポート発表		合計		
総合評価割合		80	20		100		
基礎的能力		80	20		100		
専門的能力		0	0		0		
分野横断的能力		0	0		0		